

ふえていくことであろう。今後、関係の教員各位が続々と珠玉の文字を寄せられ、よって本研究雑誌の声価が高まり、学界、経済界に大きな寄与をするよう、ここに札幌大学経済学会とその編集委員会を代表して念願するものである。

（岡 本 理 一）

札幌大学「経済学論集」開学記念号

目 次

- | | |
|---------|---|
| 近 藤 俊 雄 | 世界における鉄道開始前の交通事情の概要と本邦鉄道の開始前後における外国人の寄与 |
| 名 畑 茂 留 | 流通経済の現状と問題点 |
| 森 光 夫 | 戦後の炭鉱労働運動史序論 |
| 堺 鉦 二 郎 | 沖縄の労使関係と労働法 |
| 古 藤 三 郎 | わが国における固定費理論の発展について |
| 伊 藤 薫 | トーマス・ホッブス（翻訳） |

— 昭 和 43 年 3 月 刊 —

札幌大学経済学会会則

（名称、事務所）

第1条 本会は札幌大学経済学会と称し、事務所を札幌大学に置く。

（目 的）

第2条 本会は札幌大学における経済、経営に関する諸科学の進歩、向上をはかり、会員の研究を促進し、その成果を発表することを目的とする。

（事 業）

第3条 本会は次の事業を行なう。

- 1 学術雑誌の発行
- 2 研究会の開催

3 その他本会の目的を達成するに必要な事業
(会 員)

第4条 本会の会員は次のとおりとする。

- 1 経済学部、経営学部 to 所属する専任の教授、助教授、講師および助手
- 2 上記学部以外の専任の教授、助教授、講師および助手であって、入会を希望するもの

(会員総会)

第5条 本会の重要事項を協議するため、会員総会を開催する。会員総会の召集は会長が行なう。

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- 1 会 長 経済学部長または経営学部長があたる
- 2 編集委員 4名 うち1名は学部長とし、3名は会員の中から互選する
- 3 研究会委員 3名 会員の中から互選する

上記の両委員の任期は1年とし、再選を妨げない

(会則改正)

第7条 この会則の改正は会員総会の議を経て行なう。

附 則 この会則は昭和43年9月10日から施行する。

研 究 会 の 開 催

札幌大学経済学会では、下記のとおり、会員の研究報告会を開催した。

第1回 (9月25日)

近 藤 俊 雄 (経済学部) 世界における鉄道開始前の交通事情の概要と本邦鉄道の開始前後における外国人の寄与

都 築 利 夫 (経営学部) 日本における酪農業の経営

第2回 (11月13日)

平 尾 三 郎 (教養部) 「ゆたかな社会」における政治

田 中 昇 平 (地域開発特別研究所) 社会体系の動態化